

平成 26 年 11 月 2 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄
奏 楽 : 小島明美姉
おいのり : 平松友子姉
さんび : 新聖歌 355 「主と共に歩む」 1. 2. 4 節
使徒信条
聖書箇所 : ゼパニア書 3:14-17 (P.1306)

(朗読: 大神久美姉)

音 楽 : 倉知 契牧師

メッセージ : 「愛によって新たにされる」 倉知 契牧師

賛美と献金 : 新聖歌 656 「感謝します」(Bb)

頌 栄 : ハレルヤ (Bb)

祝 禱

報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします。昼食もどうぞ一緒に(200YEN)
- ◇ 来週は、聖餐式があります。万難排してご出席ください。
また「子ども祝福式」。教会版「七五三」で特別なお祈りとプレゼント。
- ◇ 11/23(日)から始まる「持ち寄り音楽祭」のチラシをお使い下さい。
ご家族、ご友人をお誘いくださり、次の機会には出演しても
素晴らしいですね。歌手のAsumiさんも楽しみです。
- ◇ 病める方、弱さの中にいる方、海外にいる方のため祈りましょう。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース I テモテ6章～テトス2章 Bコース エレミヤ17章～32章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年11月9日] [聖餐式・子ども祝福式]
[司会:平松章治兄、いのり:下岡晶子姉、聖書朗読:加藤由美子姉]
[ピアノ:舘 節子姉 賛美リード:大神 雄兄

アシスト:大神久美姉、大神美乃姉

[献金:大神久美姉、赤塚孝子姉 受付:平松友子姉]

◇PA:平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集:片岡洋一兄

◇ホームページ編集:大神真伸兄 ◇日曜学校:大神 雄兄



第5回目の「持ち寄り音楽会」が今月なされます。「音楽祭」に名称を変更、いま流行りの「ミュージック・フェス」です。みんなが主役!ともかく共に、音楽と芸術、その個性やオリジナリティを楽しみたいと思います。今回のゲストのひとり、瀬戸出身のシンガー&ソングライターAsumi (あすみ)さんは、先日の瀬戸物祭りでもステージに立った本格派。とっても素敵な歌声です。彼女のオリジナルアルバムの参加ミュージシャンはJ-popで活躍するメンバー(チラシ参照)で、かなりのクオリティ。その中から数曲歌ってくださいます。私は「手紙」という曲がお気に入り、何度も聴いています。

君はどうしているかな 相変わらずふざけてまた無茶をして
ぼくの記憶はあの頃の君でしかなくて 君は笑っていて
君の声がただ聞きたいけれど 君はいまがんぼっているから
僕は手紙を書いた 便りのない君に書いた

ちょっと甘酸っぱい思い出の歌なのでしょうか。「君はどうしているかな?」という歌い回しを何度も聴きながら、私もいろんな人を思い出しています。瀬戸に来て一年半、出逢った人は、600名を超えています。去年の「花は咲くプロジェクト」に一度だけ来てくださった人。クリスマス礼拝に義理で(!?)来てくださった人。ジョイキッズや持ち寄り、様々なイベントを手掛けてきましたが、祈りの手帳に残っているあの人の名前、あの方の顔を思い起こしては、再会を期待して、もう一度筆を執ろうと決心します。たとえ便りがなくても、神様の愛は届くと信じて…。

19世紀の牧師、アンドリュー・マーレー師はこう言いました。「祈りは、神ご自身の働かれる道を開く。私たちの中に、そして私たちを通して、神が働かれる。」祈って送った手紙やトラクトが無駄になることはない信じます。私たちの生活のどんな些細なことも、祈りと真心をもってしたら、実を結ぶときがきっと来る。そんな思いで深まる秋を過ごします。Asumiさんの歌は最後、こう終わります。

どんなに経っても届かないこの想いを この手紙に託して
ぼくは手紙を書いた 笑ってまた逢えますように

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

「ほら、聞こえてくるのは、喜びにあふれた聖歌隊の歌声であろうか。いや、あれは神様があなたがたのことで、喜びいっぱいに歌われる声だ！」 (L.B.)